

## 『11/30~12/2 カミホロ正面壁中央クーロアール〜三段山、プレ山行』

堀井 信弘

今年の正月 FS 山行で利尻、東稜を計画している栗山・堀井 P . . . . .。

本来であれば北稜クラブ氷雪入門に参加だったのだが正月山行のプレに伴い、自分の休み及び仕事の都合上已むなく入門参加をキャンセルし、上ホロに向う事となった。

稜雲閣 P を出発した時は天気予報に反し、カミフの街の灯りが見渡せる程の無風快晴！！

栗山さんを先頭に本日の C1 場所を探りながら快調にスキーを滑らせ進んで行くと、崖尾根下部にあるライブカメラ付近の浅いルンゼに小さい雪尻が形成されていた。

雪洞を作成する事からこの場所が適当と判断し、本日の C1 にする事とした。

冬山 . . . 今回の正月 FS での利尻山ではこの雪洞作りの技術が必要不可欠となってくる。

まあ、冬に山に入ったならどの山でも使う技術だが、恥ずかしながら自分は雪洞を作り

そこで泊まった経験が一度も無い . . . . . (苦笑)

今回のプレ山行では半雪洞を作り、そこにテントを入れて掘った入口を雪のブロックで塞いで C1 とする技術を栗山親方から学んだ。

さすが親方 . . . 手際が良くアッという間に掘り作業が完了！！次は入口を塞ぐブロック作りだが、これがあまり慣れていない自分は少々手こずり苦戦する。

やはり経験ってというのは大事っすね . . . . .

ヘタクソながらもやっこブロックを作って塞ぎ、本日の超快適な C1 が完成！

やっとな水を作り、酒を呑み、ご飯を食べ、あーでもないこーでもないで 2 人で盛り上がりながらその日は終る . . . . .

11 / 30 稜雲閣 P 出発 : 16 : 00

C1 雪洞完成 : 18 : 30

就寝 : 21 : 30

12 / 1

上ホロに向け 08 : 00、C1 出発。

出発時は天気も良くカミフの街も見えていたにも関わらず、正面壁取り付き尾根に着いた頃にはいつものカミホロチックな天候に変わっていった . . . . .

基部に着く直前のナイフリッジを栗山さんが先頭で行って来れるも、右も左も切れ落ちているリッジを通過するのは緊張が伴い「利尻もこうだよな . . . . .」と思いながら、イメージするとさらに緊張が高まる！！

正面壁基部に着き、いよいよ中央クーロワールの登攀が開始。

1P、3P は自分、2P、4P が親方としてレッツラゴー！！

「んっ . . . ! ? 何か、なまら簡単でね . . . . .」

そう . . . . . このルートはすでに氷化し、バイルがガンガン刺さりバチ効き状態。

栗山さん曰く「今日のクーロワールは過去最易！」との事。

それならば . . . と思って調子に乗り、ロープを目一杯伸ばし登った結果 2P まで登ってしまい残置終了点に

て、バガブーとアングルで支点構築しビレー。

それにしても寒さは半端じゃない！！でも、懂れていた『ビバ！カミホロ』状態に顔面がなっている事がクソ寒いけど何だか嬉しい・・・。

栗山さんが2P目登り、3P目・・・自分の番。ここで「ヘタ」を打ってしまう・・・。

早く頂上に辿り着きたい気持ちに駆られまたもロープを目一杯伸ばした結果、あと頂上まで5m ぐらいという所でザイル一杯いっぱい！！

ビレー地点を見ながら登っていたのだが、ここに来てやはりアルパインでの経験値の無さから来る判断ミスをしてしまう。

少々クライムダウンし、岩壁を掘出し0,5#キャメで支点作り、ビレー。

4P目、栗山さんで無事にカミホロピークに立った。

2人共「ビバ！・・・」になりながらロープを速攻でしまい下降尾根へ向う。

尾根上は風雪が酷く時折、ホワイトアウトになりながらD尾根を歩くもまつ毛が凍りつき非常にあずましくない！

視界不良で下降尾根の1つ手前で降りそうになり、右往左往して少しルートロスしてしまう。栗山さんがいう様に、何十回とこの尾根を歩いていても視界が悪いが故に起るこの状況に、改めて冬山の猛威を見せつけられた。

下降後、下部の雪尻にてC2の雪洞作成。

昨日経験したのもあり、雪質も良く小1時間ぐらいで本日のC2が完了！！

今日の悪天候に伴う行動で2人共、目の周りが凍傷になりボロボロ。

酒を呑み、汗だくになって晩メシを食べて、22:00に就寝。

12/1 C1出発：08:00

中央クーロアール取付き：11:00

カミホロ頂上：13:30

下降尾根：15:00

12/2 C2出発：08:30

三段山頂上：10:00

稜雲閣P：11:30

(今回のプレでの反省及び改善点。)

- \* 雪洞作成に伴う、技術力の向上。
- \* 食事に置ける、メニューの改善（より軽くより早くより燃料の消費を考えた献立）
- \* 冬山での生活術の技術力UP
- \* 冬山登攀での心構え等・・・・・・・・

正月山行に向けてのプレだったが、まだまだ至らない所があり栗山さんに迷惑を掛けてしまった場面が多々ありました。

しかしながらプレ山行の重要さも判り、次に繋がる山行だったと思っています。

自分自身で改善しなければならない箇所は徹底的に是正して、正月に計画してる利尻山に繋げて行きたい。

「連れてってってもらう山行ではなく、山に挑む同じ仲間！！」として頑張ろうと思います。